

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 成人看護学分野
科目コード:240022

ビジュアル看護実践論 Visual Nursing Practice

担当教員	臺 美佐子、紺家 千津子、峰松 健夫、大貝 和裕、松本 勝、長谷川 陽子、大西 陽子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	看護技術、看護の可視化、看護アセスメント				
学習目的・目標	<p>目的: 生態反応を可視化してアセスメントする対象臓器の構造と機能を理解し、アセスメント法の原理と評価方法を学修する。</p> <p>目標: 1. エコーの原理と看護実践における活用法を理解できる。 2. 皮膚の構造と機能、並びに創傷の治癒過程と管理方法について修得する。 3. 排尿・排便に関する臓器の構造と機能、さらに排泄自立に向けた管理方法について修得する。 4. リンパ浮腫の病態と、エコーを用いたアセスメント技術について修得する。 5. 創傷、排泄に関するエコーを用いたアセスメント技術を修得する。 6. 創傷における分子生物学的なサイトカインやバイオフィルムのアセスメント技術を修得する。</p>				
授業計画・内容					
回	内容			教員	
1	オリエンテーション 生体反応の可視化・アセスメントの意義とアウトカム			臺	
2	皮膚の構造と機能 創傷の種類と治癒課程			峰松	
3	創傷治癒におけるサイトカイン			峰松	
4	スキンテアの予防と管理 IAD(失禁関連皮膚炎)の予防と管理			峰松	
5	褥瘡発生のリスクアセスメントとケア			峰松	
6	エコー機器の原理と特徴 看護実践でのエコーの活用方法			松本	
7	創傷アセスメントと排泄アセスメント エコーを用いたアセスメントの意義と方法1:皮膚・膀胱・大腸			松本	
8	創傷ケアにおける栄養管理 エコーを用いたアセスメントの意義と方法2:側頭筋			長谷川	
9	リンパ浮腫アセスメントとケア エコーを用いたアセスメントの意義と方法3:リンパ浮腫			臺	
10	創傷における分子生物学的アセスメントの意義と方法1:サイトカイン			大貝	
11	創傷における分子生物学的アセスメントの意義と方法2:バイオフィルム			大貝	
12	急性期領域における可視化の実践例と展望			大西	
13	褥瘡の予防・管理における可視化の実践例と展望			紺家	
14	生体反応の可視化・アセスメントに関する研究の国内の動向			臺	
15	まとめ			臺	
教科書	改定 DESIGN-R®2020 コンセンサス・ドキュメント、照林社 褥瘡ガイドブック、照林社 スキンテア(皮膚裂傷)の予防と管理、照林社 IADベストプラクティス、照林社 「排尿自立支援加算」「外来排尿自立指導料」に関する手引き、照林社 看護のエコー、照林社 エコーによる直腸便貯留観察ベストプラクティス、照林社				
参考図書等	NEW褥瘡のすべてがわかる、永井書店 看護理工学、東京大学出版会 看護に役立つ!エコーの読み方 活かし方、照林社 がん看護に生かす画像の見かた、読み方、見るみるわかるBOOK、メディカ出版				
評価指標	レポート80%、ディスカッションの参加度20%				
関連科目	成人看護学特論、看護イノベーション特論、看護技術社会実装演習				
教員から学生へのメッセージ	見えないものを可視化してアセスメントすることで、より最適な看護実践につながります。ケアを求める方々の一番近くにいる看護者には、非侵襲的にPoint of Careが実施できるアセスメント技術は必須ともいえます。ぜひ一緒に学びましょう。				